

教科横断型授業 「 家庭(子どもの発達と保育) 」×「 保健体育(体育) 」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番) 「 質の高い教育をみんなに 」			
実社会での課題	<p>幼児期の運動は、将来の運動能力を高めることへ繋がり、運動遊びは動きの多様性を育くむことができる。また、子ども時代の運動の経験は、大人になってからの運動習慣の土台となり、特に幼児期に運動は重要で、土台がない大人はなかなか運動に取り組めない。近年、子どもの体力の低下は、問題視されているにも関わらず、保護者をはじめとする国民の意識の中で、外遊びやスポーツの重要性を学力の状況と比べ軽視する傾向が進み、同時に、生活の利便化や生活様式の変化は、日常生活における身体を動かす機会の減少を招いている。</p>			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	<p>フィジカルリテラシーは、実際に運動する能力はもちろん、運動にどんな意味や価値があるかという知識、運動に対する前向きな気持ちなど、さまざまな要素が含まれる。フィジカルリテラシーが高い人は、自分が体を動かして豊かなスポーツライフを実現させようとするだけでなく、家族や子どもに運動の大切さを伝えたり、運動を働きかけていくことができる。将来、大人として次世代の運動習慣の育成ができるようになるために、フィジカルリテラシーを向上させたい。</p>			
主題(教材)	体づくり運動(サーキットトレーニング(見立て遊び))			
指 導 過 程 備 考	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	導 入	15	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に、楽しく、仲良く運動できるような声掛けを意識させる。 ○園児に関わる時の力の加減や、距離の取り方について考えさせる。 ○指導者に注目できるような声掛けをさせる。 	マット チアマット エアマット コーン
	展 開	25	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しめる雰囲気をつくらせる。 ○モチベーションが上げられるような声掛けを考えさせる。 ○分かりやすく説明し、模範演技を見せる。 ○安全にのびのびと身体を動かせるように寄り添わせる。 ○園児の健康状態に注意をさせる。 ○運動の効果が上がるよう、正しい動きのできるようアドバイスさせる。 ○良くできている点を積極的な声かけで褒めさせる。 	
	整 理	5	<ul style="list-style-type: none"> ○運動後の体調を確認させる。 ○活動の振り返りができるような声掛けを工夫させる。 	
備 考				

